

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	難治性聴覚障害に関する調査研究		
2. 対象患者	対象疾患 突発性難聴・急性低音障害型感音難聴・外リンパ瘻・自己免疫性難聴 薬剤性難聴・騒音性難聴・音響外傷・ムンプス難聴・遺伝性難聴 両側性特発性感音難聴・症候群性難聴・外耳、中耳、内耳奇形を伴う難聴 耳硬化症・先天CMV感染症による難聴		
3. 対象となる期間	2014年 12月 2日 ~ 2019年 3月 31日		
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院耳鼻咽喉科 その他参加施設 信州大学、北海道大学、岩手医科大学、筑波大学、国立障害者リハビリテーションセンター、埼玉医科大学、東京医科歯科大学、虎の門病院、東京医療センター、日本医科大学、慶應義塾大学、東京大学、目白大学、北里大学、名古屋大学、神戸市立医療センター、岡山大学、愛媛大学、福岡大学、宮崎大学、長崎大学、放射線医学総合研究所、旭川医科大学、山形大学、福島県立医科大学、群馬大学、富山大学、徳島大学、京都大学、山口大学、琉球大学 [研究代表者] 宇佐美真一(信州大学医学部耳鼻咽喉科 教授)		
5. 研究責任者	氏名	佐々木 亮	所属 耳鼻咽喉科
6. 研究の意義	難聴はコミュニケーションの際に大きな障害となるため、日常生活や社会生活の質(QOL)の低下を引き起こし、長期に渡って生活面に支障を来すため、診断法・治療法の開発が期待されている重要な疾患のひとつです。しかしながら、①聴覚障害という同一の症状を示す疾患の中には、原因の異なる多くの疾患が混在しており、②各疾患ごとの患者数が少なく希少であるため、効果的な診断法および治療法は未だに確定していません。本研究では、急性高度感音難聴(突発性難聴、急性低音障害型感音難聴、外リンパ瘻、自己免疫性難聴、ムンプス難聴、騒音性難聴、音響外傷、薬剤性難聴)および、慢性高度難聴(遺伝性難聴、特発性難聴、症候群性難聴、外耳・中耳・内耳奇形、耳硬化症、サイトメガロ難聴)を対象に、日本全国の共同研究施設と連携して、難聴の実態(難聴の程度や他の症状など)および治療方法の効果に関する調査を行う計画です。		
7. 研究の目的	難聴患者さんの症状や治療方法、治療効果に関する情報を収集するとともに分析し、効果的な治療法が明らかになれば、診療ガイドライン等に反映させ、有効な治療法が普及することを目指しています。		
8. 研究の方法 (使用する資料等)	1994年から2014年までの間に、弘前大学医学部附属病院および全国参加施設の耳鼻咽喉科・頭頸部外科で上記の対象疾患と診断された患者さんのうち、選定基準を満たす患者さんに関して、通常の診療で得られた過去の記録(診療録・カルテ)を調査を行い臨床情報の収集を行います。収集した情報は、各施設で、個人を特定できる情報を削除する匿名化を行った後に、信州大学にて収集を行い分析を行います。個人と匿名化ID番号の対応表は各参加施設で施錠可能な保管庫等に保管し厳重に管理します。研究代表者および分担者は収集したデータの解析を行い、疾患の特徴を明らかにするとともに効果的な治療法に関する検討を行います。 このような研究の場合には、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」(厚生労働省H20年12月)の規定により、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開し研究を行うことが認められております。		

9. 個人情報の保護	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>		
10. 問い合わせ先	弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座 佐々木 亮		
	電話	0172-39-5099	FAX 0172-39-5100